

郵便
報知新聞
便 錦画第二号

明治八年六月九日夜大阪南船場町
平太夫老母よりある岩田三幸ある
孫子の身を連れ西長堀川の辺で
水中へ投身せり友の破道者の恵
美須丸の氷主の徒は幸ひ救助せ
らるゝ子に於て其原を問ふ孫の
母は「子下惜あるを父がサチで
つゝ老母の可愛さ一ツゆ是を怨む
生あらずて可責の罪を見入り
と孫を連れ四町柳谷観音（後
世を願ひ親類中西活き方より盃
汲みせし）を離れ此の情に至る
子に命を分せし既老母が心を
引出し得るは人命を重きとす
あやふきとありとあり



新修
新志
新志
新志

郵便報知新聞 錦画2号 文庫10-8071-1

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library